

1. 面接官の印象

《外国人面接委員》

40代くらいの男性、朗らかで英語もわかりやすかったです。また、こちらの回答に対するレスポンスも良く、うまくリズムに乗れました。

《通訳案内士》

40代くらいの女性、英語を教えているような感じ

2. 2分間プレゼンテーションについて

《出題されたトピック》

- デジタル庁
- 城下町
- 七夕

《選択したトピック》

- 『城下町』

《発表した内容》

戦国時代、城を中心にした町が構築された。戦国時代の初期は防御地点として城が重要であったが、後期では城の防御を強化しつつ、経済、交易なども強化することで国としての力を高めた。

《質疑応答について》 NS：外国人面接委員（Native speaker） I：受験生

NS	城下町の防御はどうするのか
I	お濠と石垣
NS	戦国時代、内戦状態とはどのような状態だった
I	多くの大名が争いあっていた

3. 通訳試験について

《出題された日本文》

出汁は日本料理の味を引き出している重要な要素。さまざまな料理に使われている。味噌汁、だし巻き卵、蕎麦、うどんなどに使われている。料理の味を引き出します。最近ではハンディなもの、ティーバックタイプのものなどもあり便利です。

《自分の解答した内容》

無回答

4. ロールプレイについて

《場面設定》

- ・日本の出汁の興味を持った。本国へ出汁を持ち帰りたい。お勧めのものを教えてほしい
- ・イギリスではレストランをやっている。

《ロールプレイ》 NS：外国人面接委員 (Native speaker) I：受験生

NS	お勧めの出汁は何か
I	昆布やみそが良いのでは。
NS	どこで買えるのか
I	スーパーマーケットで買える。
NS	日本語を読めないので一緒に来てもらえるか
I	もちろん
NS	他にもお勧めの出汁は
I	スーパーにはいろいろあるので、説明する。お好みのものを選んでもらえるのでは
NS	具体的に何かないか
I	鰹節はどうか
NS	それは何か
I	魚を乾かしたもの。削って使う。風味がある。必ず気に入って貰えると思う。

5. 試験を終えての感想

会場に入った時から試験官の方も UP な感じで、良い雰囲気です。自分自身、乗れた感じがします。通訳問題は料理がテーマだったので、背景知識が薄く、内心厳しい感じがしました。一方、ボキャブラリーはこのあたりも強化していたので、このあたりで大分救われたと感じました。